令和7年11月4日

「ぶらりと撮る!私の自慢のさくら」写真コンテスト 審 査 結 果 発 表

北海道さくらの会 会長 冨原 亮

北海道さくらの会主催の令和7年「さくらの写真コンテスト」については、有識者等による審査委員会の審査を終え、入賞者が決定したので発表します。

今年の道内の桜の開花は、全体的に例年より2日ほど早い開花となり、さくらの写真撮影の絶好のタイミングを逃すことなく、今回もさくらを愛する皆さんから、綺麗なさくらを見事な構図で切り取った48点もの力作の応募がありました。

入賞作品については、当会のホームページに掲載するとともに、応募全作品を掲載した 2026 カレンダーを制作し、さくらの普及啓発資材として活用します。

<添付資料>

- ・さくらの写真コンテストの概要
- ・「ぶらりと撮る!私の自慢のさくら」写真コンテスト 令和7年入賞作品 一覧
- ※「北海道さくらの会」は、日本の国を代表する"さくら"を愛する心を広く道民に呼びかけ、さくらの保存・育成及び普及啓発を図り、さくらによる本道のみどり豊かな環境づくりを推進するとともに、さくらを通じた活力ある地域づくりを進めることを目的に、平成13年11月に設立した任意団体で、事務局を公益社団法人北海道森と緑の会においています。
- ※「ぶらりと撮る!私の自慢のさくら」写真コンテストは、さくらの普及啓発のために、 平成18年から開催しており、本年は20回目となります。

〒060-0004

札幌市中央区北4条西5丁目1 林業会館3階 北海道さくらの会(公益社団法人 北海道森と緑の会内)

事務担当:大澤 英二

TEL:011-261-9022 FAX:011-261-9032

E-mail: oosawa@h-green.or.jp

さくらの写真コンテストの概要

[ぶらりと撮る!わたしの自慢のさくら]

1 募集の趣旨

「北海道さくらの会」は、道民の心のよりどころとして愛されてきた桜の保護や育成を図るととともに、道民の皆さんが桜のもとに集い楽しめる環境を整備することを目的に設立され、例年普及啓発の事業としてさくらの写真コンテストを開催し、道内のさくらの写真を募集しました。

2 実施機関

北海道さくらの会(公益社団法人 北海道森と緑の会 内)

3 募集期間

令和7年4月24日(木)~9月30日(火)まで

4 応募作品数

48点

5 審査年月日及び審査場所

審査年月日 令和7年10月27日(月)13時30分から 審査場所 北海道第二水産ビル 8階「8BC会議室」 (札幌市中央区北3西7-1)

6 入選作品

応募要領に基づき次のとおり、入選者を表彰します。

- ① 最優秀賞 1点 賞状・賞金2万円
- ② 優 秀 賞 2点 賞状・賞金1万円
- ③ 入 選 4点 賞状・賞金5千円

7 入選作品の審査結果等

審査結果は、北海道さくらの会のホームページに掲載するとともに本人に通知します。 入選作品は、カレンダーや写真パネル等として普及活動に使用します。

「ぶらりと撮る!私の自慢のさくら」写真コンテスト

令和7年入賞作品

最優秀賞

「丘の上のさくら」(名寄市智恵文 5/12 撮影) 林 真之介(名寄市)



丘の上にポツンと立つ一本の桜の木。勝手に地元の「ドラゴン桜」と呼んでいます。いつも私達と五穀豊穣を見守ってくれているように思います。

優秀賞

「桜色爆発」(上富良野町深山峠 5/8 撮影) 天野 良三(空知郡上富良野町)



上富良野町の深山峠の桜は、春の風物詩です。日の出の少し後に、オレンジ色の朝焼けの光を桜の木の横から浴びて、谷全体が桜色に輝く瞬間があります。

優秀賞

【主催:北海道さくらの会】

「風のメモリー桜並木」(伊達市館山下町 5/9 撮影) 山内 崇司 (札幌市南区)



旧国鉄胆振線跡が遊歩道として整備され、見事な桜並木となっています。別名風のメモリー。昭和新山をバックに撮影しました。

入選

札幌軟石に咲く_



「積丹古平!桜参道」 (古平町明和神社)

佐竹 輝昭(札幌市厚別区)



日野 透(札幌市中央区)



「春の喜び」 (函館市五稜郭のお堀)

田中 康夫 (恵庭市)



「スズメの花ラッパ」 (函館市五稜郭公園)

田中 知子 (恵庭市)

審 査: 令和7年10月27日(月) 北海道第二水産ビル8階「8BC会議室」において 審査員7名による審査 事務局: 札幌市中央区北4西5-1 林業会館3F(北海道森と緑の会内) 北海道さくらの会 TEL 011-261-9022